

平成27年度

帯広畜産大学大学院畜産学研究科

修士課程・博士前期課程

学生募集要項（10月入学）

（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜）

APPLICATION FOR ADMISSION TO
THE MASTER'S PROGRAM
GRADUATE SCHOOL OF ANIMAL HUSBANDRY
OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND
VETERINARY MEDICINE
Starting in October, 2015

General Admission, Special Selection for Mature Applicants,
Special Selection for International Students

目 次

1 募 集 人 員	1
2 出 願 資 格	1
3 出 願 手 続	4
4 入学者選抜方法	7
5 学力検査実施科目（一般選抜のみ）	8
6 試験期日及び試験場	9
7 障害等のある志願者との事前相談	9
8 合 格 発 表	9
9 入 学 手 続	10
10 個人情報の取扱いについて	10
◎ 帯広畜産大学大学院畜産学研究科修士課程・博士前期課程案内	11
◎ 出願書類の提出・問い合わせ先	17

Contents

1 Number of Students to be Admitted	18
2 Application Criteria	18
3 Application Procedure	22
4 Method of Selection	25
5 Examination of Academic Skill (for General Admission only)	26
6 Time, Date and Examination Location	27
7 Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities	27
8 Notification of Admission	28
9 Enrollment Procedures	28
10 Privacy Statement	28
© Description of the Master's Program	29
© Application and enquiries	34

1 募集人員

修士課程

専攻名	コース名	募集人員		
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
畜産生命科学専攻	家畜生産科学コース	若干人	若干人	若干人
	環境生態学コース			
食品科学専攻	食品加工・利用学コース	若干人	若干人	若干人
	食品機能科学コース			
資源環境農学専攻	環境植物学コース	若干人	若干人	若干人
	農業環境工学コース			
	農業経済学コース			

博士前期課程

専攻名	コース名	募集人員		
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
畜産衛生学専攻	家畜環境衛生学コース	若干人	若干人	若干人
	食品安全学コース			

2 出願資格

(1) 一般選抜（外国人留学生含む）

次の①～⑨のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成27年9月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成27年9月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年9月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年9月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成27年9月までに修了見込みの者

- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成27年9月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑧ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑨ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

注1： ⑧、⑨で出願する者は、3ページ(4)「出願資格の認定」を参照してください。

注2： **大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生が出願する場合には、出願に先立って出願資格審査を行う必要がありますので、3ページ(4)「出願資格の認定」を参照してください。**

(2) 社会人特別選抜（外国人留学生含む）

次の①及び②に該当する者

- ① 平成27年9月までに、2年以上の社会経験（研究機関、教育機関、行政機関、企業等での勤務及び自営業、主婦等の経験）を有する者
- ② 次のi～viiiのいずれかに該当する者
 - i 平成25年9月以前に大学を卒業した者
 - ii 平成25年9月以前に学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - iii 平成25年9月以前に外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - iv 平成25年9月以前に外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - v 平成25年9月以前に我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - vi 平成25年9月以前に専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - vii 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - viii 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達したもの

注1： ②viiiで出願する者は、3ページ(4)「出願資格の認定」を参照してください。

注2： **大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生が出願する場合には、出願に先立って出願資格審査を行う必要がありますので、3ページ(4)「出願資格の認定」を参照してください。**

(3) 外国人留学生特別選抜

次の①、②及び③に該当する者

- ① 日本の国籍を有しない者で、外国に在住している者
- ② TOEFL, TOEIC又はIELTS試験のいずれか一つを出願時において2年以内に受験している者
- ③ 次の i 又は ii のいずれかに該当する者
 - i 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成27年9月までに修了見込みの者
 - ii 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達したもの

注1： **大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生が出願する場合には、出願に先立って出願資格審査**を行いますので、3ページ(4)「出願資格の認定」を参照してください。

○外国人留学生特別選抜により入学した者を対象にした経済的支援について（ただし、外国政府等の奨学金等の受給者は、対象としません。）

- ・国際交流協定締結大学出身者を対象とした特別支援制度として、奨学金（月額：5万円、支給人数：若干人）の支給があります。ただし、支給は2年間を限度とし、1年後の成績等の総合評価によっては支給を停止する場合があります。
- ・国際交流協定締結大学出身者で上記の奨学金受給決定者は、入学料及び授業料が免除になります。ただし、授業料免除は2年間を限度とし、1年後の成績等の総合評価によっては免除を取り消す場合があります。
- ・奨学金受給希望者は、下記の書類を用意し出願時に提出して下さい。

提出書類	・奨学金受給申請書（本学が定める様式） ・奨学金申請理由書（任意様式）
問い合わせ先	帯広畜産大学 教育研究支援部 入試室入学試験係 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

- ・国際交流協定締結大学出身者以外の者に対しての経済的支援については、本学ホームページを参照してください。<http://tech.obihiro.ac.jp/~gakumu/english/admission/aid/index.html>

(4) 出願資格の認定

下記の提出書類を整え、**期限**までに提出してください。

- ・一般選抜・社会人特別選抜・・・・・・・・平成27年7月3日（金）
- ・外国人留学生特別選抜・・・・・・・・平成27年5月29日（金）

なお、郵送の場合は必ず書留速達としてください。

提出書類	・入学資格認定申請書（本学が定める様式） ・最終学歴の卒業（修了）証明書 ・成績証明書（履修状況を証明する書類） ・研究歴証明書（研究期間、研究内容は必ず記載） ・研究成果資料
提出先	帯広畜産大学 教育研究支援部 入試室入学試験係 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

3 出 願 手 続

(1) 出願書類等

① 出願書類（一般選抜・社会人特別選抜）

出 願 書 類 等		一 般 選 抜	社 会 人 特 別 選 抜	摘 要
1	入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 ・写真（縦4cm横3cm）は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望専攻名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください（受験時に眼鏡を使用する者は、必ず眼鏡を着用して撮影したものにしてください）。
2	志 願 理 由 書	○	/	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院を志願する理由を本学所定の様式1枚に記入してください。
3	卒業証明書又は 卒業見込証明書	○	○	
4	成 績 証 明 書	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・厳封したものを提出してください。
5	住 民 票 の 写 し (外国人のみ)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・書類提出前6か月以内に発行されたもの。 ・在留資格、在留期間が記入されているものを提出してください。
6	あ て 名 票 (合格通知書送付用)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
7	受 験 科 目 確 認 シ ー ル	○	/	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に記入してください。
8	受 験 票 送 付 用 封 筒	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の封筒(小)に郵便番号・住所・氏名を明記し362円分の切手を貼ったものを提出してください（入学試験係に受験票を直接取りに来る場合は切手を貼る必要はありません）。
9	推 薦 書	/	○	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務先所属長の推薦書又は従事していた勤務先所属長の推薦書若しくは自己推薦書を提出してください。
10	研 究 計 画 書 (畜産生命科学専攻 食品科学専攻 資源環境農学専攻)	/	○	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院において行おうとする研究内容（日本語の場合は1,000字程度、英語の場合は600ワード程度）
11	業 績 報 告 書	/	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文、技術報告書、特許、実用新案、卒業研究報告書等、本人の業績又は業務内容を示すもの。

注1： 日本国籍を有しない者の出願書類については、別に指示しますので、出願の前にあらかじめ入学試験係まで申し出てください。

注2： 国費外国人留学生は、2～4については提出を要しません。

② 出願書類（外国人留学生特別選抜）

出願書類等		摘 要
1	入学志願票 受験票 写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・*印欄以外の所定の欄はすべて記入してください。 ・写真（縦4 cm横3 cm）は、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもので、裏面に志望専攻名・氏名を記入の上、写真票の所定の欄に貼ってください。
2	志願理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院を志願する理由、研究計画及び将来どのように大学院で学んだことを生かしたいか、経歴を含めてA4版用紙3枚（任意様式）に英語でまとめること。
3	卒業証明書又は 卒業見込証明書	
4	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・厳封したものを提出してください。
5	あて名票 （合格通知書送付用）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の用紙に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
6	受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の封筒（小）に郵便番号・住所・氏名を明記したものを提出してください。
7	推 薦 書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の長等の推薦書（任意様式、英語） （人物、成績、課外活動、英語力、その他）
8	小 論 文	<ul style="list-style-type: none"> ・大学から送付するテーマに関する小論文をA4版用紙2枚（任意様式）に英語で記入してください。
9	TOEFL公式スコア レポート、 TOEIC公式認定証、 IELTS成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、いずれか一つの原本を提出してください。 ① TOEFL-iBTまたはTOEFL-PBTの公式スコアレポート（受験者用） ② TOEICテストの公式認定証 ③ IELTS-Academic Modulの成績証明書 <p>なお、成績は、テストを書類提出日からさかのぼって2年以内に受験したものを有効とします。また、TOEFL-ITPやTOEIC-IP（団体特別受験制度）は、認めません。</p>

注1：出願に際しては、**希望するコースの教員にあらかじめ連絡**をとること。

※ 指導教員の一覧については本学ホームページを参照してください。
<http://tech.obihiro.ac.jp/~nyushi/daigakuin.html>

③ 検 定 料 30,000円

1) 一般選抜・社会人特別選抜【国内出願】（日本国内で送金する場合）

本学所定の払込取扱票により、払込期間内に最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。

国費外国人留学生は、検定料を必要としませんが、在学する大学発行の「国費外国人留学生証明書」（写しでも良い）を提出してください。

払い込み後、「振替払込受付証明書（お客様用）」（日附印が押印されたもの）を出願書類の所定の場所に貼って提出してください。

なお、郵便局・ゆうちょ銀行の窓口取扱いは通常平日は16時まで、土・日曜日及び祝日は休業ですのでご注意ください。

検定料払込期間 : 平成27年6月30日（火）～平成27年7月17日（金）

2) 外国人留学生特別選抜（外国在住者）【国外出願】（日本国外から送金する場合）

金融機関で検定料：額面30,000円（日本円）を次の要領に従って海外の金融機関より送金してください。その際、必ず外国送金依頼書のコピーを志願票と共に提出してください。

- ・ 電信送金
- ・ 振込方法 : 通知払
- ・ 支払銀行手数料 : 依頼人負担
- ・ 送金金額 : 30,000円
- ・ 次の銀行口座に送金してください。
 - 受取銀行：信用中央金庫（金融機関コード：ZENBJPJT）
 - 受取銀行住所：東京都新宿区市谷本村町9-1
 - 取引口座：帯広信用金庫稲田支店（0340900）
 - 受取人名：帯広畜産大学
 - 受取人住所：080-8555 北海道帯広市稲田町西2-11
- ・ **送金依頼書の連絡事項欄に必ず「PAY IN FULL」と記入してください。**

検定料払込期間 : 平成27年6月12日（金）～平成27年6月30日（火）

※ 支払銀行手数料を含む全ての手数料は依頼人が負担してください。

注1： 受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

- ア) 出願しなかった場合
- イ) 出願書類が受理されなかった場合
- ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 帯広畜産大学 入試室入学試験係 TEL 0155-49-5321

注2： 検定料が払い込まれていない場合や「振替払込受付証明書」に郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が押印されていない場合は出願を受理できません。

(2) 出願期間

- ① 一般選抜・社会人特別選抜
平成27年7月10日（金）～平成27年7月17日（金）
（郵送の場合も**7月17日（金）必着**とします。）
- ② 外国人留学生特別選抜
平成27年6月22日（月）～平成27年6月30日（火）
（郵送の場合も**6月30日（火）必着**とします。）

(3) 出願方法

出願書類は、一括して本学所定の封筒（大）若しくは角型2号の封筒に入れ、持参又は郵送してください。

- ① 持参の場合
受付時間は、8時30分から17時までとします。ただし、土・日曜日を除きます。
- ② 郵送の場合
 - 1) 一般選抜・社会人特別選抜
必ず「書留速達」扱いにし、**平成27年7月17日（金）17時必着**とします。
なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。
 - 2) 外国人留学生特別選抜（外国在住者）
必ず「EMS」若しくは「書留」のエアメール便扱いにし、**平成27年6月30日（火）17時必着**とします。
なお、出願期限後に到着した出願書類等は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕を持って発送してください。

(4) 出願書類等の提出先

17ページに記載してあります。
なお、出願書類等は、返還することができません。

4 入学者選抜方法

- (1) 一般選抜
学力検査、面接、志願理由書及び成績証明書の内容を総合して行います。
- (2) 社会人特別選抜
面接、推薦書、成績証明書、研究計画書（**畜産生命科学専攻・食品科学専攻・資源環境農学専攻**）及び業績報告書の内容を総合して行います。
- (3) 外国人留学生特別選抜
面接（インターネットを利用）、志願理由書、推薦書、成績証明書、小論文及び英語（TOEFL, TOEIC又はIELTS）の成績の内容を総合して行います。

5 学力検査実施科目（一般選抜のみ）

(1) 畜産生命科学専攻

コース名	試験科目			適用
	専門科目	小論文	外国語科目	
家畜生産科学	家畜生産科学	小論文	英語 ※ 外国人留学生は日本語口頭試問を行う。	専門科目は、志望するコースと同名の科目を受験すること。
環境生態学	環境生態学			

(2) 食品科学専攻

コース名	試験科目			適用
	専門科目	小論文	外国語科目	
食品加工・利用学	食品加工・利用学	小論文	英語 ※ 外国人留学生は日本語口頭試問を行う。	専門科目は、志望するコースと同名の科目を受験すること。
食品機能科学	食品機能科学			

(3) 資源環境農学専攻

コース名	試験科目			適用
	専門科目	小論文	外国語科目	
環境植物学	環境植物学	小論文	英語 ※ 外国人留学生は日本語口頭試問を行う。	専門科目は、志望するコースと同名の科目を受験すること。
農業環境工学	農業環境工学			
農業経済学	農業経済学			

(4) 畜産衛生学専攻

コース名	試験科目	
家畜環境衛生学	小論文	英語
食品安全学		

6 試験期日及び試験場

(1) 一般選抜

実施期日	科目等	時間	試験場
平成27年8月25日(火)	外国語科目 (英語又は日本語口頭試験)	9:30~11:30	帯広畜産大学
	専門科目, 小論文	13:00~15:00	
平成27年8月26日(水)	面接	9:00~	帯広畜産大学

(2) 社会人特別選抜

実施期日	科目等	時間	試験場
平成27年8月26日(水)	面接	9:00~	帯広畜産大学

(3) 外国人留学生特別選抜

インターネットを利用した面接および書類審査日・・・平成27年7月7日(火)
面接についての詳細は、別途、出願者が希望するコースの教員を通じて連絡します。

※ 平成27年8月24日(月)10時から試験場案内図を受験者入口(総合研究棟I号館玄関)に掲示しますが、試験室内に入ることはできません。

7 障害等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に本学と相談を行ってください(日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください)。

(1) 相談の期限

一般選抜・社会人特別選抜・・・・・・・・平成27年7月3日(金)

外国人留学生特別選抜・・・・・・・・平成27年5月29日(金)

(2) 問い合わせ先 17ページに記載してあります。

8 合格発表

(1) 一般選抜・社会人特別選抜・・・・・・・・平成27年9月2日(水)10時

外国人留学生特別選抜・・・・・・・・平成27年7月16日(木)10時

本学総合研究棟I号館玄関及びホームページに合格者の受験番号を公表します。(ホームページアドレスは17ページ参照)

(2) 合格者には、合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。

(3) 電話等による可否に関する問い合わせには、応じられません。

9 入学手続

- (1) 入学手続期間
 - ① 一般選抜・社会人特別選抜
平成27年9月2日（水）～平成27年9月18日（金）
 - ② 外国人留学生特別選抜
平成27年9月2日（水）～平成27年9月24日（木）
- (2) 入 学 料 282,000円
- (3) 授 業 料 前期分 267,900円（年額 535,800円）
注）上記の納付金は現行額であり，入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金が適用されます。
- (4) その他の経費
学生教育研究災害傷害保険料等（正課・課外活動中における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置） 2,470円

10 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜及び入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。
- (4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係（修学指導等）、学生支援関係（奨学金申請・授業料免除申請等）に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。なお、合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

帯広畜産大学大学院畜産学研究科修士課程・博士前期課程案内

本学のミッションは、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会へ貢献することです。
このような理念・目標のもとに、教育ポリシー（方針）を以下のように定めています。

1 畜産学研究科の教育ポリシー（方針）

◎目指すべき人材像

「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する問題解決型の高度な研究能力と幅広い見識を備えた人材

○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科は、「食の安全確保」をはじめとする農畜産学に関する課題解決能力と幅広い見識を備えた人材を育成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 獣医・農畜産融合の視点から、食の安全確保・生産性向上・環境保全に関する課題に関心が高く、それらに関する課題解決に積極的に取り組みたい人
2. 農畜産学に関する国際的な視野を持って行動できる高度専門職業人をめざす人
3. 各専攻の特定分野に関する基礎知識と基本的技術を身につけている人
4. 本研究科に配置された専攻分野の課題について研究し、その深奥を究めたい人

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、以下の点に配慮して教育を行います。

1. 専攻ごとに教育の中心となる「専攻コア科目」を配置し、さらにコースごとに高度な専門的知識を修得する科目を配置します。
2. 高度な専門性をもつ人材に必要な教養を身につけるため、共通教養科目を配置するとともに幅広い専門性の高い知識を修得できるように他専攻の科目を選択履修にします。
3. 課題の発見・解決に向けて高度な専門知識と技術を修得できるように、特定分野の研究を進めるための科目を用意します。
4. 英語による論文作成・口頭発表できるようにするため、英語教育科目を配置します。
5. 国際的に活躍できる能力を培うために、インターンシップ演習及び海外フィールドワークを準備します。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学大学院畜産学研究科は、以下の能力を身につけた人に学位を授与します。

1. 獣医・農畜産融合の視点から、食料の生産から消費について高度な知識と倫理観を身につけている。
2. 生命・食料・環境の分野について地球規模の課題の解決に向けた取り組みができる。
3. 思考・判断の過程を説明するために必要なプレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力を身につけている。
4. 本研究科に配置された専攻分野に関する高度専門職業人としての知識と技術を身につけている。

2 各専攻の教育ポリシー（方針）及びコースの概要

◎畜産生命科学専攻

○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

環境と調和した新規な農畜産システムの創造に意欲があり，畜産学を骨子とした生命科学領域及び環境科学領域の諸問題に幅広い視野をもって取り組むことができる人材を育成するため，以下のような人を学生として求めています。

1. 家畜生産・管理に関する高度な知識及び技術及び研究能力を身につけ，畜産学的及び生命科学的観点から社会への貢献をめざす人
2. 農畜産環境及び自然環境の保全と管理に関する幅広い知識，技術及び研究能力を身につけ，生態学的及び環境科学的観点から社会への貢献をめざす人

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

成熟化した国際社会における畜産で重視される動物福祉や環境保全を踏まえ，家畜の生産性向上を中心とした生理機構及び畜産周辺環境とのかかわりに関する基礎から応用までの分野，自然環境の構成員（野生動物，昆虫，植物）の役割・機能，相互作用及び農畜産業と生態系保全の両立に関する分野の高度な知識と技術を修得させる授業科目を配置します。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 生体内部のマイクロレベル，個体及び個体群を対象としたマクロレベル，さらに周囲の生態系を含めた広範囲な生命科学研究領域から学ぶことによって，家畜とその周囲環境を総合的に理解している。
2. 畜産学や環境科学及びその関連分野への多角的な貢献ができる優れた能力を身につけている。

・家畜生産科学コース

生命科学の進歩と生産技術の進化は畜産をより高度な産業へと変化させました。また，世界的レベルでの環境・食糧問題や経済・貿易問題は，良質なタンパク生産技術として有史以前から人類の生業であった畜産を大きく変えつつあります。本コースでは，家畜の生体機能，育種，繁殖，栄養，管理などの畜産専門科目を中心に，環境，経済，食糧などの最新知識を提供します。さらに実習や演習，研究活動を通して思考力，応用力を鍛えることで，様々な状況に柔軟に対応できる，これからの農畜産業を担って行く，幅広い知識を備えた専門職業人を育成します。

・環境生態学コース

本コースでは，北海道の豊かな自然環境及び広大な農畜産環境を対象に，様々な生態学の研究分野（群集生態学・景観生態学・行動生態学・分子生態学・保全生態学など）及び環境適応を主題とした生命科学について教育を行います。生命と環境の関係を広い視野から多角的に捉え，その複雑かつ多様な機構を理解し，さらに，環境の保全と管理について科学的に熟慮・提案することができる社会的に有用な人材を育成することを目的とします。

◎食品科学専攻

○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

食品科学に関する高度な専門知識を備えて、農畜産物の加工・利用への先端技術の応用や食品成分の生体に及ぼす機能性を解明できる人材を育成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 農畜産物の加工・利用に関する高度な技術を身につけたい人
2. 食品のもつ様々な機能性に関する知識を深めたい人

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

農畜産物を原料とした食品の製造・加工およびこれらの機能性・安全性に関して、分子レベルから工業生産レベルまでの広範かつ最新の知見と技術を学ぶための授業科目を配置します。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 農畜産物の加工・利用およびそれらの機能性・安全性についての高度な知識と技術及び応用力を身につけている。
2. 食品科学および関連産業の発展に必要とされる高度な課題解決能力を身につけている。

・食品加工・利用学コース

本コースでは、食品の一次機能を基礎に、二次機能を主眼とする食品加工・利用学分野の高度な知識と技能の習得を目標とします。即ち、乳・乳製品や食肉・食肉製品を含む畜産物の理化学的性質、その加工品の製造技術と安全性、農産物の貯蔵中の生理と品質、各種農産物の加工法、品質評価、最新加工技術、並びに農畜産食品に含まれる栄養素の化学と栄養性、生体調節機能や健康機能性について、食品加工・利用学に関する高度な教育と研究を行います。

・食品機能科学コース

本コースでは、食品の一次機能を基礎に、三次機能を主眼とする食品機能科学分野の高度な知識と技能の習得を目標とします。即ち、食品成分の特性や醸造・発酵などの微生物機能を利用した食料・有用物質生産への応用、健康の維持・増進に関する食品成分の生体調節機能とその作用機序、機能性評価法の開発、遺伝子組換え食品の現状と展望、並びに長寿社会に向けた疾患予防について、食品機能科学に関する高度な教育と研究を行います。

◎資源環境農学専攻

○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

日本の食料基地と称される北海道十勝平野の豊かなフィールドを背景に、食料生産の向上と持続可能な物質循環を支えるための高度な知識と技術を持った人材を育成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 栽培植物の改良や生産と土壌及び病害虫に対する最新知識を探求したい人
2. 工学的素養を基礎として、環境と調和した生産技術改善と地域環境保全に熱意のある人
3. 食料生産に関わる農業経済学や経営学の知識を育み、社会発展に寄与したい人

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上に関する分野、機械的・生物学的手法や土木技術手法による食料生産環境の改善に関する分野、食料生産に関わる経済学や経営学に関する分野の高度な知識と技術を修得させる授業科目を配置します。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 地域の資源を利用し、食料の生産性向上を支えるための食料生産原理、生産技術や環境制御、農業の経済に関する高度な知識と技術を身につけている。
2. 地域社会や国際社会が直面する食料・環境問題を総合的に解決する優れた能力を身につけている。

・環境植物学コース

本コースでは、国内有数の畑作・畜産地帯である北海道・十勝に立地する教育研究機関であることを最大限に活かし、環境保全型農畜産業を支える土づくりから、畑作物と飼料作物の育種と栽培、病害虫管理及び草地利用までを総合的に理解することを目的とし、ラボワークでの基礎からフィールドワークでの実証に至る幅広い実践的な教育研究を通して、世界の農畜産業の基盤づくりを担える高度専門職業人を養成します。

・農業環境工学コース

本コースでは、農業環境工学の基礎となる農業機械システム工学、農業農村工学及び大気地盤情報学の理論と応用に関する高度な教育と研究を行います。農業機械システム工学では、農業エネルギー工学、農作業システム工学・資源循環工学に基づく農畜産技術の高度化、農産物等の品質向上とコスト低減、バイオマス資源の利用技術等に関する教育・研究を行います。農業農村工学では、農地工学・農村計画学・農地保全学に基づく農業生産基盤・農村生活環境の向上及び環境と調和した農業に関して、大気地盤情報学では、農林地の気象・地盤・環境情報の評価に関する教育・研究を行います。

・農業経済学コース

本コースでは、1) 農業経営とそれを支援する組織の持続的発展のための経営理論、2) 国民に安定的に食料を供給するための農業・食料政策の理論と、政策の効果を明らかにする手法、3) 農業・食料にかかわる実践的な研究を進めるために必要とされる高度な統計理論を教授します。単なる理論修得にとどまらず、これを具体的な課題に応用した場合の有効性と限界を意識しつつ、実践的な課題解決のための提言を示すことができる経営・経済感覚の陶冶のため、特に様々な手法に基づく社会調査とその分析を重要視しています。

◎畜産衛生学専攻

○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

「食の安全確保」に基本をおいた農畜産物生産から食品衛生及び環境保全に至る一連の教育研究を行い、国際的に活躍できる高度専門職業人を育成するため、次のような人材を学生として求めています。

1. 家畜の健康と繁殖衛生管理、感染症、食肉生産、人畜共通原虫病に関する高度な知識と技術を身につけたい人
2. 食品衛生に関する総合的な知識を身につけて社会貢献をめざす人
3. 効率的な循環型農畜産システムの構築、衛生動物による感染症防除の発展に寄与したい人

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

1. 畜産生産現場から食卓における衛生に主眼を置いた繁殖衛生管理、感染症、乳肉生産、食品衛生等の幅広い専門分野に関する授業科目を配置します。
2. グローバルに活躍できる人材を育成するためにコミュニケーションやプレゼンテーションも含めながら、バイリンガルで授業を実施します。

○ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

1. 家畜生産現場やその環境から農畜産物の生産・加工・流通にわたる衛生管理ならびに食の安全性について、多元的な視点で捉えることができる。
2. 「食の安全確保」を担う国際的な高度専門職業人としての幅広い知識と優れた問題解決能力を身につけている。

・家畜環境衛生学コース

畜産生産現場において、家畜を飼養・繁殖管理して生産病の発生を抑えることにより家畜の潜在能力を最大限に引き出すための理論や技術開発に関する教育を行います。さらに、寄生虫の一種である原虫が原因の感染症（原虫病）の治療・診断法、動物の健康や疾病予防問題と栄養素の分子機能との関係など、人獣共通原虫病の防御を目的とした教育を行います。また、水系汚染、地球温暖化ガスの放散などエネルギー多投入型家畜生産システムを改善し、安全な食品を確保するために、効率的な循環型農畜産生産システムの構築やダニなどの衛生動物による感染症防除の確立など、国際的な感染症疫学調査からバイオマスの利活用までの環境衛生に関する総合的な教育も行います。

・食品安全学コース

安全で優れた畜産食品の安定的な供給と効率化を図るため、農場から食卓までの過程における危害因子について総合的な教育を行います。具体的には、細菌及びウイルスを中心とした病原微生物の治療・予防法、農場・食品加工上の衛生管理システムの経営的評価とマネジメント、国際貿易における動植物検疫制度の経済評価と制度設計、食品の機能性の追求や病原微生物の発症機構の解明による畜産食品のリスク評価手法、食品に関連する健康障害因子の分析などの食品衛生に関する総合的な教育・研究を行います。

3 課程の修了及び学位の授与

本学大学院畜産学研究科修士課程及び博士前期課程に2年以上在学して所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文（畜産衛生学専攻は、特定の課題についての研究の成果を含む）の審査及び最終試験に合格した者を課程の修了者とし、畜産生命科学専攻・食品科学専攻・資源環境農学専攻は修士（農学）、畜産衛生学専攻は修士（畜産衛生学）の学位を授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、研究科に1年以上在学すれば足りるものとします。

4 教育職員免許状について

一種免許状を取得し、又はその資格を有している者が、本学大学院の課程において修士の学位を有するか、又は1年以上在学し、所定の単位を修得したときは、「農業」又は「理科」の教科について教育職員免許状（専修免許状）を取得することができます。

なお、「畜産衛生学専攻」では教育職員免許状（専修免許状）を取得できません。

専攻別取得教育職員免許状の種類及び教科

専攻	免許状の種類	免許教科
畜産生命科学専攻	高等学校教諭専修免許状	農業又は理科
食品科学専攻	高等学校教諭専修免許状	理 科
資源環境農学専攻	高等学校教諭専修免許状	農業又は理科

5 社会人の受入れについて

本学大学院畜産学研究科では、大学等を卒業し企業や官公庁、教育現場などで活躍しながら、さらに高度な学識や技術を習得するために大学院へ進学しようとする社会人を受け入れるために、社会人特別選抜の制度を設けています。社会人特別選抜では、一般選抜の学力検査に代えて、面接と書類審査によって社会人としての実績や資質、研究への意欲に重点を置いた選抜を行います。

なお、出願に際しては入学後の研究内容や履修方法などについて、入学を希望する専攻の専攻長とあらかじめ協議してください。

6 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有するなどの事情により、標準修業年限を越えた一定の期間（4年以内）で計画的に教育課程を履修し課程を修了したい方に、標準修業年限の学費で、その長期の計画的な履修を認めるものです。

長期履修を希望する方は、あらかじめ指導担当予定教員と相談の上、原則として入学手続き時に申請書を提出してください。

◎ **出願書類の提出・問い合わせ先**

〒 080-8555 帯広市稲田町西 2 線11番地

帯広畜産大学 教育研究支援部 入試室入学試験係

TEL 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:00)

E-mail nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各専攻の紹介、大学の概要等が載っています。
アドレスは、次のとおりです。 <http://www.obihiro.ac.jp>

1 Number of Students to be Admitted

Program	Laboratory	Number of Students to be Admitted		
		General Admission	Special Selection for Mature Applicants	Special Selection for International Students
Life Science and Agriculture	Animal Production	Limited	Limited	Limited
	Ecology and Environmental Science			
Food Science	Food Technology and Biotechnology	Limited	Limited	Limited
	Biomolecular Structure and Function			
Agro-environmental Science	Plant Production Science	Limited	Limited	Limited
	Engineering for Agriculture			
	Agricultural Economics			

Program	Laboratory	Number of Students to be Admitted		
		General Admission	Special Selection for Mature Applicants	Special Selection for International Students
Animal and Food Hygiene	Animal and Environmental Health	Limited	Limited	Limited
	Food Safety			

2 Application Criteria

(1) General Admission (including international students)

To apply for General Admission, one must meet one of the following criteria:

- ① Those who are graduates of a university or college, or are expected to do so on or before September 30, 2015.
- ② Those who have been awarded a bachelor's degree according to Article 104, Section 4 of the School Education Law or who are expected to do so on or before September 30, 2015.
- ③ Those who have successfully completed 16 years of formal education abroad or are expected to do so on or before September 30, 2015.
- ④ Those who have taken a correspondence course from an overseas educational institution in Japan and completed 16 years of formal education or are expected to do so on or before September 30, 2015.
- ⑤ Those who have completed an undergraduate program of an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, whose graduates are regarded as having completed 16 years of formal education, or are expected to do so on or before September 30, 2015.

- ⑥ Those who have completed a four-year or longer professional program approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, conducted by a vocational school, after the date set by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or are expected to do so on or before September 30, 2015.
- ⑦ Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 5, Ministry of Education, 1953).
- ⑧ Those who have been enrolled in a university for 3 years or longer, or have completed 15 years of formal education attending an overseas educational institution, taking correspondence courses in Japan conducted by an overseas educational institution, or attending an undergraduate program at an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, and have been recognized as having earned specified credits with excellent grades by Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School.
- ⑨ Those who are 22 years old or older, and recognized in the preliminary selection by Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than persons who are graduates of a university or college.

Note 1 : Applicants who satisfy ⑧ or ⑨ need to refer to (4) "Authorization for Qualified Applicants" on page 21.

Note 2 : International applicants from countries in which it takes less than 16 years to complete formal education to the university level need to refer to (4) "Authorization for Qualified Applicants" on page 21.

(2) Special Selection for Mature Applicants (including international students)

To apply for the Special Selection for Mature Applicants, one must meet the criteria outlined in ① and ②.

- ① A person who has been employed in either the public or private sector or an educational institution, self-employed or a homemaker for 2 years or more, and is at least 24 years of age;
- ② A person who meets at least one of the items i~viii.
 - i . Those who graduated university or college on or before September 30, 2013.
 - ii . Those who have been awarded a bachelor's degree according to Article 104, Section 4 of the School Education Law on or before September 30, 2013.
 - iii . Those who successfully completed 16 years of formal education abroad on or before September 30, 2013.
 - iv . Those who have taken a correspondence course from an overseas educational institution in Japan and completed 16 years of formal education on or before September 30, 2013.
 - v . Those who have completed an undergraduate program at an overseas-based educational institute located in Japan that has been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, whose graduates are regarded as having completed 16 years of formal education, on or before September 30, 2013.
 - vi . Those who have completed a four-year or longer professional program approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, conducted by a vocational school, after the date set by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, on or before September 30, 2013.
 - vii . Those who are deemed eligible by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Bulletin No. 5, Ministry of Education, 1953).

viii. Those who 24 years old or older, and recognized in the preliminary selection by Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than persons who are graduates of a university or college.

Note 1: Applicants who satisfy viii need to refer to (4) "Authorization for Qualified Applicants" on page 21.

Note 2: International applicants from countries in which it takes less than 16 years to complete formal education to the university level need to refer to (4) "Authorization for Qualified Applicants" on page 21.

(3) Special Selection for International Students

To apply for the Special Selection for International Students, one must meet each of the criteria ①, ② and ③.

- ① Those who don't hold Japanese nationality and reside abroad.
- ② Those who took any of the following exams, TOEFL, TOEIC and IELTS within 2 years of the time of their application .
- ③ A person who meets either of the items i or ii.
 - i . Those who have successfully completed 16 years of formal education abroad or are expected to do so on or before September 30, 2015.
 - ii . Those who are 22 years old or older, and recognized in the preliminary selection by Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School as having equal to or higher academic ability than persons who are graduates of a university or college.

Note 1: **International applicants from countries in which it takes less than 16 years to complete formal education to the university level** need to refer to (4) "Authorization for Qualified Applicants" on page 21.

○ Scholarship (Limited to Special Selection for International Students)

For graduates of university which has concluded an international academic exchange agreement with Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, a scholarship for a 50,000 yen/month is available for limited number of students. However, this scholarship will not be given to those who are recipients of a government or other scholarship. This scholarship will be available for a maximum of two years, but could be terminated depending on a general evaluation of grades, etc. after one year.

The students who receive above scholarship are also exempt from the entrance and tuition fees unless a government or other organization is paying their fees. The maximum period of exemption is for two years. The exemption may be cancelled depending on the student's overall evaluation including course grades in the first year.

If you want a scholarship, documents in the table below must be submitted when you apply.

Documents to submit	<ul style="list-style-type: none"> • Application form for a scholarship (Use the prescribed form) • Statement of reason why you want a scholarship
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11, Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido, 080-8555 Japan

For those who are not graduates of university which has concluded an international academic exchange agreement with Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, visit our website to see other financial aid.

<http://tech.obihiro.ac.jp/~gakumu/english/admission/aid/index.html>

(4) Authorization for Qualified Applicants

Submit the documents in the table below by the deadline if you need to be authorized as a qualified applicant.

- Deadline for the applicants for General Admission and Special Selection for Mature Applicants is **Friday, July 3, 2015.**
 - Deadline for the applicants for Special Selection for International Students is **Friday May 29, 2015.**
- If you send the documents by mail, use registered express mail.

Documents to submit	Application form for qualified applicant authorization (Use the prescribed form) <ul style="list-style-type: none"> • Graduation/completion certificate from the last school you attended • Academic transcript • Research certificate (including period of time and contents of your research) • Materials from research results
Submit to:	Entrance Examination Office Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine 11, Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido, 080-8555 Japan

3 Application Procedure

(1) Application documents

① Application documents (General Admission / Special Selection for Mature Applicants)

Application documents		General Admission	Special Selection for Mature Applicants	Summary
1	Application form, Exam admission card, Photograph card	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out the prescribed form except columns marked with *. • The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat, and wearing glasses if you expect to do so at the exam. Write your full name and expected major on the back of the photo and glue it to the designated spot.
2	Statement of purpose	<input type="radio"/>	/	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out the prescribed form. Describe why you chose our Master's Program.
3	Certificate of graduation, or certificate of expected graduation	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
4	Academic transcript	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • Must be sealed.
5	Certificate of Residence	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • Must be issued within 6 months before the date of submission. • Must contain the description of visa status and period of stay.
6	Name and address card(the address will be used to contact successful applicants)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out your name, address and postal code on the prescribed form.
7	Seal for confirmation of subject examination	<input type="radio"/>	/	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out the prescribed form.
8	Self-addressed stamped envelope for sending the exam admission card	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out your name, address and postal code, and put postage stamps worth 362 yen on the prescribed small envelope. (The stamps are unnecessary if you choose to come to the Entrance Examination Office to pick up the card.)
9	Letter of recommendation	/	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • Submit a letter of recommendation from the head of the office/company of current or previous employment, or a letter of self recommendation.
10	Research proposal (except applicants for Animal and Food Hygiene)	/	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • Describe the research you intend to do in the Master's Program. Approximately 1000 characters in Japanese or 600 words in English.
11	Curriculum vitae or Resume	/	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> • A list that shows your achievements and duties, which may include published articles, technical reports, patents, utility models, or graduation theses.

Note 1 : Applicants who are not Japanese nationals must contact the Entrance Examination Office to receive special instructions before applying.

Note 2 : Government-financed international students do not need to submit items 2-4.

② Application documents (Special Selection for International Students)

Application documents		Summary
1	Application form, Exam admission card, Photograph card	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out the prescribed form except columns marked with *. • The photo (4 cm high x 3 cm wide) must have been taken within 3 months prior to application. The portrait must be a full face, front view, without a hat, and wearing glasses if you expect to do so at the exam. Write your full name and expected major on the back of the photo and glue it to the designated spot.
2	Statement of purpose	<ul style="list-style-type: none"> • Describe your reasons for applying to the Master's Program school and how you plan to use the knowledge learned from your graduate studies. Also include a brief personal history. Write on A4-sized paper, 3 pages maximum in English.
3	Certificate of graduation, or certificate of expected graduation	
4	Academic transcript	<ul style="list-style-type: none"> • Must be sealed.
5	Name and address card (the address will be used to contact successful applicants)	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out your name, address and postal code on the prescribed form.
6	Self-addressed stamped envelope for sending the exam admission card	<ul style="list-style-type: none"> • Fill out your name, address and postal code on the prescribed small envelope.
7	Letter of recommendation	<ul style="list-style-type: none"> • Head or person of equivalent status of college you attended (which should describe applicant's personality, grades, extracurricular activities, English proficiency, etc.).
8	Short essay	<ul style="list-style-type: none"> • Write a short essay on the theme provided by the University on A4-sized paper, 2 pages maximum in English.
9	TOEFL Examinee Score Reports or TOEIC Official Score Certificate or IELTS Test Report Form	<ul style="list-style-type: none"> • The original certificate of any of the following exams. <ol style="list-style-type: none"> ① Examinee Score Reports of TOEFL-PBT or TOEFL-iBT ② Official Score Certificate of TOEIC test ③ Official Test Report Form of IELTS • The test which was taken within 2 years of the date of application is acceptable. • TOEFL-ITP(Institutional Test Program) and TOEIC-IP (Institutional Program) score are not acceptable.

Note 1 : **Contact the supervisor of the program you wish to join to before applying.**

Visit our website to see the researchers lists.

<http://www.obihiro.ac.jp/english/education/lists/index.html>

- ③ Payment method for examination fee
Entrance examination fee: **30,000 yen.**

1) General Admission and Special Selection for Mature Applicants (**Remittance from inside Japan**)

Please pay 30,000 yen for the examination fee using the prescribed form at a post office or Japan Post Bank within the designated payment period as indicated below. **The receipt must be submitted with the application documents.**

Government-financed international students do not have to pay the fee but must submit the "certificate of government-financed international studies" issued by your college (a copy is acceptable).

Note that post offices are normally open from 9:00 to 16:00 on weekdays and closed on Saturdays, Sundays and national holidays.

Payment Period: From Tuesday, June 30 to Friday, July 17, 2015.

2) Special Selection for International Students (**Remittance from abroad**)

The amount of 30,000 yen for the examination fee must be transferred from a financial institution following the instructions below. A photocopy of the Telegraphic Transfer Application Form must be submitted with the application documents.

- Telegraphic transfer
- Advise and pay
- Applicant pays the transaction charge
- Amount: ¥30,000(yen)
- Transfer to:

Receiving bank:

SHINKIN CENTRAL BANK
INTERNATIONAL OPERATIONS CENTER
SWIFT CODE: ZENBJPJT

Receiving bank's address:

9-1 HONMURA-CHO, ICHIGAYA, SHINJUKU-KU, TOKYO JAPAN

Beneficiary's Account No:

0340900 with OBIHIRO SHINKIN BANK INADA BRANCH

Beneficiary's name:

OBIHIRO CHIKUSAN DAIGAKU

Beneficiary's Address:

11, NISHI 2, INADACHO, OBIHIRO, HOKKAIDO, 080-8555, JAPAN

- Put "PAY IN FULL" in the "Message to payee" space in the remittance application form.

Payment Period: From Friday, June 12 to Tuesday, June 30, 2015.

***All handling fees including transaction charges are to be paid by the applicant.**

Note1: The examination fee is not refundable for any reason except the following:

- The applicant has failed to submit his or her application form by the prescribed date, or his or her application form has been rejected by the University.
- The applicant has paid the examination fee twice.

A request for a refund should be made promptly.

*For further information about the refund, contact:

Entrance Examination Office

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Note2: An application will be rejected if the examination fee is not paid or the payment receipt is not dated by the post office or Japan Post Bank.

(2) Application period

① General Admission / Special Selection for Mature Applicants

Applications will be accepted **from Friday, July 10 to Friday, July 17, 2015.**

If sent by mail, **the documents must arrive by Friday, July 17, 2015.**

② Special Selection for International Students

Applications will be accepted **from Monday, June 22 to Tuesday, June 30, 2015.**

If sent by mail, **the documents must arrive by Tuesday, June 30, 2015.**

(3) Application method

Enclose all the application documents in the prescribed envelope or an A4-sized envelope and bring it directly to the University or send it by mail.

① Direct Application: Accepted between 8:30 and 17:00, Monday through Friday.

② Mailed Application:

1) General Admission/Special Selection for Mature Applicants

The documents must be sent by **registered special delivery mail, and must arrive by 17:00 on Friday, July 17, 2015.** Documents arriving later than this will not be accepted. Please be sure to send them early enough to avoid postal delays.

2) Special Selection for International Students (Residents outside of Japan)

Documents must be sent by **EMS or registered airmail, and must arrive by 17:00 on Tuesday, June 30, 2015.** Documents arriving later than this will not be accepted. Please be sure to send them early enough to avoid postal delays.

(4) Where to send Application Documents

Entrance Examination Office, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

11, Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido, 080-8555 Japan

Note: The application documents will not be returned unless stated in the application procedures.

4 Method of Selection

(1) General Admission

Results from the examination of academic ability and interview, the statement of purpose for application, and the academic transcript will be examined.

(2) Special Selection for Mature Applicants

Results from the interview, the letter of recommendation, the academic transcript, the research proposal(except applicants for Animal and Food Hygiene), and the curriculum vitae/resume will be examined.

(3) Special Selection for International Students

Results from the interview over the internet, the statement of purpose, the academic transcript, the letter of recommendation, the short essay, and English test (a score of TOEFL, TOEIC or IELTS) will be examined.

5 Examination of Academic Skill (for General Admission only)

(1) MASTER'S PROGRAM IN LIFE SCIENCE AND AGRICULTURE

Laboratory	Examination Subjects	Specialized Subjects
Animal Production	English and Short Essay	Animal Production Science
Ecology and Environmental Science		Ecology and Environmental Science

Examination Subjects

I. Specialized Subjects

Note: Choose 1 subject from your desired laboratory.

II. English

Note: International students will have an oral examination in Japanese.

(2) MASTER'S PROGRAM IN FOOD SCIENCE

Laboratory	Examination Subjects	Specialized Subjects
Food Technology and Biotechnology	English and Short Essay	Food Technology and Biotechnology
Biomolecular Structure and Function		Biomolecular Structure and Function

Examination Subjects

I. Specialized Subjects

Note: Choose 1 subject from your desired laboratory.

II. English

Note: International students will have an oral examination in Japanese.

(3) MASTER'S PROGRAM IN AGRO-ENVIRONMENTAL SCIENCE

Laboratory	Examination Subjects	Specialized Subjects
Plant Production Science	English and Short Essay	Plant Production Science
Engineering for Agriculture		Engineering for Agriculture
Agricultural Economics		Agricultural Economics

Examination Subjects

I. Specialized Subjects

Note: Choose 1 subject from your desired laboratory.

II. English

Note: International students will have an oral examination in Japanese.

(4) MASTER'S PROGRAM IN ANIMAL AND FOOD HYGIENE

Laboratory	Examination Subjects
Animal and Environmental Health	English and Short Essay
Food Safety	

6 Time, Date and Examination Location

(1) General Admission

Date	Subject	Time	Location
Tuesday, August 25, 2015	Foreign language (English or Oral examination in Japanese)	9:30 – 11:30	Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
	Special Subject and Short Essay	13:00 – 15:00	
Wednesday, August 26, 2015	Interview	9:00 –	

(2) Special Selection for Mature Applicants

Date	Subject	Time	Location
Wednesday, August 26, 2015	Interview	9:00 –	Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

(3) Special Selection for International Students

Selection based on submitted documents and the interview over the internet: Tuesday, July 7, 2015.
The details about the interview will be informed from the supervisor of the program that you want to join.

Note: From 10:00 a.m. on Monday, August 24, 2015, the location of the examination room will be posted at the entrance of the General Research Building I. However, entry into the examination room is not allowed.

7 Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities are advised to consult with the Entrance Examination Office beforehand, as special consideration may be necessary for taking the examination or studying. Those who use a hearing aid, crutches, or a wheel chair are also advised to consult the Entrance Examination Office as special arrangements at the examination sites and other locations may be necessary.

(1) Deadline for the consultation

General Admission / Special Selection for Mature Applicants : **Friday, July 3, 2015**
Special Selection for International Students : **Friday, May 29, 2015**

(2) For inquiries, contact: Entrance Examination Office,

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine
11, Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido, 080-8555 Japan
E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

8 Notification of Admission

- (1) General Admission / Special Selection for Mature Applicants:

10:00 a.m., Wednesday, September 2, 2015

Special Selection for International Students:

10:00 a.m., Thursday, July 16, 2015

The code numbers of the accepted students are displayed at the entrance of the General Research Building I and on the website (<http://www.obihiro.ac.jp>).

- (2) Notification of admission and the documents necessary for enrollment procedures are sent to the accepted students.
- (3) No telephone enquiries regarding admission.

9 Enrollment Procedures

- (1) Enrollment Period

① General Admission / Special Selection for Mature Applicants

From Wednesday, September 2 to Friday, September 18, 2015

② Special Selection for International Students

From Wednesday, September 2 to Thursday, September 24, 2015

- (2) Enrollment Fee: 282,000 yen

- (3) Tuition Fee: 267,900 yen for the first term (535,800 yen for one year)

Note : If there is an increase in tuition after enrollment, the student will be required to pay the difference.

- (4) Other Expenses

Fee for disaster/accident insurance for students in education/research: 2,470 yen

(Insurance for accidental injury in University activities)

10 Privacy Statement

- (1) Any personal information we acquire is strictly protected under the "Law on Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies" and the "National University Corporation Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Management Regulations of Personal Information."
- (2) Personal information such as your name and address that is sent during the application process is used for selection, notification of admission, enrollment procedures, survey and research on selection methods and additional procedures.
- (3) Personal information such as the examination results acquired in the process of selection is used for survey and research on selection and selection methods.
- (4) For only successful applicants, personal information mentioned above (2) and (3) is also used for the purposes of school affairs (ex: study guidance etc.) and student support (ex: scholarship application, tuition exemption application etc.) after entering Obihiro University.

Description of the Master's Program
Graduate School of Animal Husbandry
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

The mission of the Graduate School is to make a contribution to the local and the global communities through the development of practical science by intellectual creation and practice, and by fostering the human resources who will support food production and people's lives. Under such philosophy and purpose, each laboratory provides the following admission policy:

1. Graduate School Educational Policy

Goals of the Graduate School

The goal of the Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Graduate School is to train individuals who will have the ability to conduct advanced research with well-developed problem-solving skills and the comprehensive knowledge of agriculture and animal husbandry to promote food safety.

Admission Policy

Graduate School aims to train individual who can solve the problems related to agriculture and animal husbandry, specifically food safety using a wide range of knowledge. We want students:

1. Who are extremely interested in issues relating to food safety, improving productivity, preserving the environment, and tackling these issues from a comprehensive perspective by combining agriculture, animal science and veterinary science.
2. Who want to be highly specialized professionals that can work in an international setting to deal with agriculture and animal husbandry problems.
3. Who has acquired basic knowledge and skill related to the specific subjects of a Master's Program.
4. Who wish to do intensive research on issues related to the program of the Graduate School.

Curriculum Policy

On the basis of the diploma policy, the Graduate School curriculum is organized as follows:

1. "Major core subjects" are arranged as the main subjects in every major education and special subjects are arranged in every laboratory so that students may have advanced specialized knowledge.
2. In order to have a broad exposure to a variety of fields, a requirement for an advanced specialists, common liberal arts courses and subjects from a variety of laboratories are available.
3. To acquire advanced specialized knowledge and an understanding of the technology required to detect and resolve problems, advanced study of specific fields is offered.
4. The students are required to take "English Communication for Science" (in Master's Program) or "Presentation Practice" (In Doctoral Program) to improve their ability to write academic papers and do oral presentations in English.
5. In order to cultivate the ability to work in international situations, overseas fieldwork and internships are available.

Diploma Policy

The degree shall be conferred on persons who:

1. Acquire knowledge and ethics related to food production and consumption from a comprehensive perspective of agriculture, animal science and veterinary science.
2. Strive to solve global issues in the fields of food and environmental science.
3. Acquire communication and presentation skill to explain his or her own ideas.
4. Acquire the skills required by an advanced specialist related to the specific subjects covered in the Graduate School curriculum.

2. Master's Educational Policy and Description of Laboratory

(1) Master's in Life Science and Agriculture

Admission Policy

The program aims to foster human resources who are eager to create agricultural and livestock production systems in harmony with the natural environment, and who use an extensive outlook to resolve various problems in the fields of life sciences and environmental science that are based on livestock science. For that purpose the program seeks the following students from inside and outside of Japan:

1. Those who have a desire to acquire advanced knowledge, skills and research ability on livestock production and management, and to make social contributions through livestock and life sciences.
2. Those who have a desire to acquire broad knowledge, skills and research ability on conservation and management of agricultural and the natural environment, and to make social contributions through ecology and environmental science.

Curriculum Policy

This program provides advanced knowledge and training related to basic and applied areas of animal physiology and the relationship between livestock animals and their surroundings and their roles as members of the natural environment (mammals, birds, insects, plants). Based on the need for preserving the environment and promoting animal welfare, important aspects of the animal husbandry research and the livestock industry in the international community.

Diploma Policy

A Master of Agriculture shall be conferred on a person who:

1. Understands livestock animals and their living environments by learning from a wide range of life science research areas
2. Has acquired the skills and knowledge to be able to contribute to the fields of livestock science, environmental science and related fields.

Laboratory of Animal Production

The curriculum of the major provides the latest knowledge in animal science and state-of-the-art production technologies. The major also addresses economic, social and environmental issues that the livestock industry and our societies face. Through a series of lectures, practicums and research activities, the course aims to nurture students who are capable of contributing to the life sciences as well as the livestock industry.

Laboratory of Ecology and Environmental Science

This major provides education in life science, mainly on various ecological research fields (synecology, landscape ecology, behavioral ecology, molecular ecology, conservation ecology) and environmental adaptation, dealing with the rich natural environment and extensive agricultural and livestock production systems of Hokkaido. This program intends to train people who can contribute to society by understanding the relationship between life and the environment from a broad perspective, comprehend their complicated and diverse mechanisms, think scientifically and make suggestions on environmental conservation and management.

(2) Master's in Food Science

Admission Policy

The program aims to train competitive and practical scientists who can apply advanced methods for utilization of agricultural resources and who will study the benefits of foods consumption by humans with profound knowledge in food science. For that purpose, the program invites the following students from within Japan and overseas:

1. Those who have a desire to acquire higher technologies in processes and conversion of agricultural resources.
2. Those who have a desire to accumulate knowledge on the biological functions of food constituents.

Curriculum Policy

This program provides a wide range of current information and new technologies, from the molecular level to the industrial level, related to the processing of agricultural resources and their biological functions and safety.

Diploma Policy

A Master of Agriculture shall be conferred on a person who:

1. Has acquired the advanced knowledge and skills related to the processing and conversion of agricultural resources and their biological functions and safety.
2. Has acquired the advanced knowledge and skills to be able to contribute to the fields of food science and related industries.

Laboratory of Food Technology and Biotechnology

The goal in this major is for the students to acquire advanced knowledge and skills in the field of food processing and utilization by focusing on the secondary functions of food as well as knowledge and skills of the primary functions of food as the foundation of their studies. Advanced instruction and research is conducted on physicochemical properties of livestock products such as milk, dairy products, meat and meat products, the production techniques and safety of processed foods, physiology and quality of agricultural products in storage, processing methods of various agricultural products, quality evaluation, the latest processing techniques, and chemistry, nutrition, biological regulatory functions and health-promoting functions of nutrients contained in agricultural and livestock foods.

Laboratory of Biomolecular Structure and Function

The students in this major are expected to acquire advanced knowledge and skills in the field of food function science focusing on the tertiary functions of food as well as knowledge and skills of the primary functions of food as the foundation of their studies. Advanced instruction and research is conducted on the application of the characteristics and microbe functions of food constituents, such as brewing and fermentation, in the production of food and useful materials, functions of food constituents in regulating a living organism and the mechanism for health maintenance and promotion, the development of functional evaluation methods, the present situation and prospective of biotech food, and disease prevention to support an aging society.

(3) Master's in Agro-environmental Science

Admission Policy

The program aims to foster human resources who have advanced knowledge and the skills for supporting improvements in food production and sustainable material distribution. At their disposal are the rich fields of the Tokachi Plain in Hokkaido, which is called the food production center of Japan. For that purpose, the program seeks the following enthusiastic students:

1. Those who have a desire to investigate the latest knowledge on production and improvement of cultivated plants as well as soil and microorganisms.
2. Those who have enthusiasm in improving environmentally-friendly production techniques and conserving the local environment through the use of their engineering backgrounds.
3. Those who have a desire to cultivate knowledge on agricultural economics and business administration with regard to food production, and to make contributions to society.

Curriculum Policy

Based on the concepts of sustainable material circulation and the utilization of local resources of Tokachi, Hokkaido, a major food production area in Japan, this program provides advanced knowledge and skills related to quantitative and qualitative enhancements in plant production. The courses cover the plant physiology, plant pathology, plant genetics and soil science, to improve the production environment using their knowledge of agricultural machinery engineering, environmental engineering and biology, and agricultural economics and farm management.

Diploma Policy

A Master of Agriculture shall be conferred on a person who:

1. Has acquired the advanced knowledge and skills related to the principles of food production, production technology, and environmental control, that are required to improve plant production and utilize local resources.
2. Has mastered the ability to solve food and environmental issues that affect local and international communities.

Laboratory of Plant Production Science

The goal of this major is to produce expert professionals with a comprehensive understanding of the factors that support sound ecological agriculture and livestock industry practices, including soil making, breeding and cultivation of upland and forage crops, disease and pest control, and grassland utilization, taking full advantage of being at an education and research institute located in Tokachi, Hokkaido, which is one of the largest upland and livestock zones in Japan. Through extensive practical instruction and research ranging from basic laboratory work to practical fieldwork, the course produces professionals who can take an active part in the making of the foundations of the world's agriculture and livestock industries.

Laboratory of Engineering for Agriculture

In this major, advanced instruction and research is conducted on theories and applications of agricultural machinery system engineering, agricultural and rural engineering, and atmospheric and ground information science, which serve as the bases of agroenvironmental engineering. In the field of agricultural machinery system engineering, instruction and research is conducted on the advancement of agricultural and livestock techniques, quality improvement and cost reduction of agricultural products, and utilization techniques of biomass resources, based on agricultural energy engineering, farming system engineering and resource recycle engineering. In the field of agricultural and rural engineering, instruction and research is conducted on the improvement of agricultural production bases and rural living environments, and environmentally-friendly agriculture, based on agricultural land engineering, rural planning studies, and studies on farm land conservation. In the field of atmospheric and ground information science, instruction and research is conducted on the evaluation of meteorological, ground, and environmental information in farmlands and forests.

Laboratory of Agricultural Economics

This major teaches:

- 1) Administrative theories for the sustainable development of farm management and supporting organizations
- 2) Theories for agricultural and food policies that provide citizens with a stable supply of food, and techniques to evaluate the effects of those policies
- 3) Advanced statistical theories necessary to carry out practical research about agriculture and food

Special emphasis is given to social survey and analysis by various techniques in order to go beyond merely acquiring theories but to understand the efficacy and limitations of them when applied to actual problems. This major cultivates the students' sense of administration and economics that will enable them to make practical suggestions to solve problems.

(4) Master's in Animal and Food Hygiene

Admission Policy

The program's educational offerings cover a series of topics from agricultural and livestock production to food hygiene and environmental conservation all on the basis of "the securing of food safety". It aims to train researchers, university instructors and highly specialized professionals who can play an active part in the international community. For that purpose, the program seeks the following students from inside and outside of Japan:

1. Those who have a desire to acquire advanced knowledge and skills on livestock health, sanitary control for breeding, infectious diseases, meat production, and zoonotic protozoiasis.
2. Those who aim to acquire comprehensive knowledge on food hygiene and to make a contribution to society.
3. Those who have a desire to make a contribution to the development of efficient recycling-oriented agricultural and livestock production systems and to advance the control of diseases transmitted by vectors.

Curriculum Policy

Focused on "Farm to Table", this program provides:

1. A comprehensive education related to reproductive hygiene management, infectious diseases, meat and milk production, and food hygiene.
2. Bilingual education to develop students' communication and presentation skill in English so that they may play an active part in the international community.

Diploma Policy

A Master of Animal and Food Hygiene shall be conferred on a person who:

1. Has mastered the health management aspects of the production, processing, distribution and marketing of agricultural resources.
2. Has acquired the advanced knowledge and skills to contribute internationally to food safety.

Laboratory of Animal and Environmental Health

We teach technical development and theories for raising and breeding healthy livestock and controlling diseases as well as naturally maximizing the potential of healthy animals in order to improve economic efficiency. Furthermore, we examine the interactions between host animals and parasites, such as worms and protozoa that cause infectious diseases. Based on this research, we provide a comprehensive program of animal medical science that includes the diagnoses and treatment of zoonotic protozoan diseases, and the relationship between animal health/disease prevention and the basic functions of nutrition.

We provide comprehensive instruction in environmental hygiene including prevention of diseases by infected vector animals, an international epidemiological study of infectious diseases and the utilization of biomass. We are also studying the establishment of a recycling system in the agricultural and livestock production system based on energy recycling (carbon) and material recycling (nitrogen) in order to alter the highly energy intensive livestock production system that greatly impacts the environment by disturbing material circulation, polluting water systems and emitting global-warming gases.

Laboratory of Food Safety

We provide a comprehensive examination of the potential dangers that exist in the path that food takes from farm to dining table in order to achieve a stable and efficient supply of safe, high quality livestock food products. The instruction and research on food hygiene done by this Laboratory includes:

1. the treatment and prevention of pathogenic microbe contamination, (mainly bacteria and viruses),
2. the management and evaluation of sanitary control systems on farms and at food processing sites,
3. the economic evaluation and design of quarantine systems used in international trade,
4. the development of risk evaluation methods for livestock food products by examining food functions and
5. the pathogenic mechanism of microbes, and the analysis of health dangers related to food.

3 Duration and Qualification

(1) Life Science and Agriculture / Food Science / Agro-environmental Science

In the Master's Program, after a regular attendance at the university for 2 years and completion of the required research, instructions, and after passing the thesis inspection and the final examination, a Master's Degree in Agriculture will be conferred.

(2) Animal and Food Hygiene

In the Master's Program, after a regular attendance at the university for 2 years and completion of the required research, instructions, and after passing the thesis (including results of the research about a special problem/issue) inspection and the final examination, a Master's Degree in Animal and Food Hygiene will be conferred.

Program	Degree
Life Science and Agriculture	Master of Agriculture
Food Science	Master of Agriculture
Agro-environmental Science	Master of Agriculture
Animal and Food Hygiene	Master of Animal and Food Hygiene

4 Teaching Certificate

In the Master's Program (except Animal and Food Hygiene), if students who have a first class teaching certificate of Agriculture or Sciences for Japanese high school attend more than one year at the university and complete the program, earning predetermined credits, an advanced class teaching certificate can be conferred.

5 Application from workers in the private / public sectors

The Graduate School of Animal Husbandry welcomes applications from those who are working in private / public sectors.

6 Special long term limit

This system allows students who have a job or other special considerations to complete their degree within an agreed-upon time (maximum of 4 years) beyond the standard term limit and still pay the same fee as those students who complete their degrees in the standard amount of time.

In principle, those who want to use this system must apply for it at the time they enroll after consulting with their prospective advisor.

◎ Application and enquiries

1. Contact method:

Please contact us by e-mail.

2. Contact:

Entrance Examination Office,

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

11, Nishi 2, Inadacho, Obihiro, Hokkaido, 080-8555 Japan

E-mail: nyushi@obihiro.ac.jp

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine Website

Visit our website for further information on admission, faculties and outline of Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine.

<<http://www.obihiro.ac.jp>> in Japanese

<<http://www.obihiro.ac.jp/english/index.html>> in English